

そらのとり

岩見沢聖十字幼稚園だよりNo. 5

2018年8月22日発行

8月の聖句

「平和を実現する人々は、幸いである。」

(新約聖書マタイによる福音書5章9節)

わたしたちは、喧嘩したり、仲直りしたり、それを繰り返しながら共に生きることを学び成長してゆきます。

思うに、平和・和解を成立させる、もっともシンプルな言葉は「ごめんなさい」です。おとなになると、なかなか、口にできない現実があります。

それに対して、こどもたちは、和解の名手です。

そこには成長があります。

「ごめんなさい」が素直に言えないわたしたちは、こころの成長もストップしているのかも知れません。

こどもから学びましょう。



小野 かよこ先生

FUJIさん!!!

今回は、私ときよこ先生の富士登山、珍道中の報告です。まずは、今回富士登山をすることになったかといいますと、私が「死ぬまでに1度は富士登山をしたいんです。」ときよこ先生に話をしたのが始まりです。きよこ先生は、なんと登山歴20年、富士登山も4回も経験している山を愛する“山ガール”♡なんです。私はといいますと、登山は好きなのですが、最近は幼稚園で行く円山登山と藻岩山登山だけなんです。どうしても富士登山がしたかったのです。そんな凸凹の2人が2泊3日で富士登山に出かけました。

さて1日目。5合目の吉田口から7合目の山小屋まで登りました。天気も良く、登山道から頂上も見えて、ウキウキ気分が張りました。そして2日目。朝4時に山頂を目指して登り始めると、神秘的なご来光を見ることができ、気分は絶好調!!でも、徐々に台風13号が近づいてきた、雨風が強くなり、残り400mの9合目(標高3600m)で、下山することになりました。



(富士登山初めての私は、悔しくて悔しくて・・・きよこ先生になだめられながら下山しました。)

そして3日目。なぜか、はとバス観光で楽しみ、頂上に登れなかった悔しさも忘れていました。こうして凸凹の2人の2泊3日の登山は幕をおろしましたが、やっぱり頂上への思いは消えずまた来年、富士山の頂上を目指して頑張ります。子ども達が何度も何度も、ロフトやタワーに挑戦したくなる気持ちがよくわかりました!!

全国の先生方と語り合った岩見沢園庭セミナー

園長 菊地 和子

昨年度から園庭や園内環境を改善するために、保護者の皆さんとさまざまなものを創ってきました。これまでのご理解とご協力、本当にありがとうございました。この園庭に夏休み中の8月3日、全国からたくさんの先生方が集まり、環境づくりについて学び合いました。

第1部は「幼児期の体験が思春期以降にどうつながっていくのか」

「小学校で何が教えるときに既習の事象からアプローチできないか考える。生活経験や実物での体験が豊富な子は発想も豊か。」

「幼児期の終わりにまで育ててほしい10の姿をみると、自由遊びは全ての力につながっている。」
「自己肯定感を育て体験も100人いれば100通りの選択があり、自分で選べるのが大切。」



第2部では、かよこ先生とかなえ先生から自由遊びを確保するためのカリキュラムの工夫、かなえ先生から毎朝の園庭の準備や点検のようす、ちえ先生からは子どもの変化と先生方自身の変化について。

ゆかり先生は、こどもたちが挑戦しつづけて日々達成感を得てたくましくなっていくようすを実際の動画で紹介してくれました。

今回は九州や近畿、関東や道内からもたくさん来てくれました。また岩見沢市議の方、プレパークや町内会の方も興味をもたれて参加して下さい、とても嬉しい広がりでした。



聖十字オリジナルTシャツができました!

空知の食材でおもてなしました。

ここにしかない、聖十字らしい楽しいデザインのTシャツができあがりしました。これは、園庭や園内環境を整える資金のために販売しますので、ご協力いただくと大変助かります。大人も子供も1枚1500円で、8/25(土)のフェスティバルでも販売します。木材や土、砂、ロープやネジ、じゅうたんやクッションやおもちゃなど、子ども達のあそび環境に使います。どうぞよろしくお願いいたします!